



水辺のひろば

No.1
2007年4月1日発行



イバラトミヨとニ王子 絵/木村 修

「加治川ネット21」が活動を始めて、10年が過ぎました。「次の世代を担う子供たちに地域の文化に根ざした素晴らしい自然環境を引き継ぐ」ことを合い言葉に行ってきた事業に対して様々な方々からご助言やご協力をいただくことができ、地域に根ざした団体として認められるようになりました。

その結果、4年前にはNPO法人となり、更に活動の幅が広がっています。この間に「環境大臣表彰」や「きれいな水と美しい緑を取り戻す全国大会会長賞」などもいただくことができました。

これまでの活動については、その都度、当会のホームページや会員向けの会報でお知らせしていましたが、より多くの方に活動内容を知らせ、自然や環境に目を向けていただくこと、そしてこれからはさまざまな団体と連携を取り合うことが大切であると考え、新たな事業として、広報を発行することと致しました。

この広報が阿賀北地域の自然環境の発信誌として、また市民と行政、企業との橋渡し役となり、ネットワークとフットワークの原動力になれば幸いです。

発刊に寄せて

NPO法人加治川ネット21
理事長 若月 学

自然観察

池沼探検隊①

加治川ネット21では地域に点在する身近な池や沼を探し出し、その生態の現況を調べてみよう、平成11年から池沼探検を実施しています。

最初の2年間は地図に示してある湖沼が本当にあるのかどうか探してみようという事で、オリエンテーリングのよううに地図を頼りに実在調査をしました。3年目からは水の中に網をいれて水中の生物等を調べることが行いました。写真は荒川地区の建設業者の近くにあったスキが繁茂する農業用水です。



ヌカエビやアメリカザリガニが多く生息しています。特にヌカエビは農薬の影響を受けやすいとのことで、たくさん居るといことは沢の水が流入していることが関係しているとわかりました。

一見泥の水で透明度もなく何も居ないように見えるのですが、実は生物たちはしっかりと生きています。皆さんも身近な水辺を覗いて見ませんか。

スタッフ募集

子どもや環境はみんなの宝物、明日の地域のために…。

一人一芸。ぜひ、活動に力を貸してください。NPO法人加治川ネット21では、活動するための様々なスキルを求めています。環境学習から親睦会まで、一緒に活動しませんか？

— 問い合わせは事務局へ —

- 専門分野の知識のある方
- 植物の知識がある方
- 動物の知識のある方
- 川遊びの得意な方
- 山の詳しい方
- 昆虫に詳しい方
- 会計が得意な方
- 料理が得意な方
- 伝統行事に詳しい方
- 歴史に詳しい方
- 農業に詳しい方
- 遊びの得意な方
- とにかく顔のひろい方
- 雑学の豊富な方
- とにかく楽しい方
- イラストの得意な方
- 世話好きな方
- …etc

暮らしのなかの

生き物たち

カエル

田んぼといえばカエルです。水温が上がるにつれて活動が活発になり、初夏に産卵し、初夏に子カエルが孵化しますが、カエルの世界にも異変が起っています。新発田では普通に見られるトノサマガエルですが、新潟市内ではほとんど見られませんが、絶滅危惧類に分類されているのをご存知ですか？

トノサマガエルはアマガエルと違い、足に吸盤がなく、コンクリート水路に落ちるとはい上がれず溺れてしまうのです。また、両生類は紫外線に弱いので、オンホールの影響もあって世界的に減少傾向にあります。身近なカエルにも昨今の環境問題が影響しています。

オタマジャクシを見て何ガエルかを区別するのは難しいのですが、ちよとした特徴から区別できます。まず、春真っ先にみられるオタマジャクシはアカガエルです。冬期間見られるオタマジャクシで大型のものはウシガエル、小型の場合はツチガエルのことが多いようです。



※出典: 布自然環境計画 中村俊信

編集後記

加治川ネット21の広報紙「水辺のひろば」の創刊です。

これまで当会の活動は会報やホームページなどでお知らせしていましたが、パソコンのない人や会員以外の人には、会の活動はあまりPRしていない状況でした。設立から10年、会の活動もようやく軌道に乗り、多方面からの話題も仲間も増えたことから、広報発行となりました。

この「水辺のひろば」は当会の活動報告のみならず、「自然・環境」をキーワードに、他団体の情報、文化、新発田のよさの再発見、ときには皆さんからの投稿写真や口コミなど、様々な情報を提供できる広報を目指します。

御意見、御感想などありましたら、事務局までお知らせください。

《自然保護助成基金 事業成果を発表》

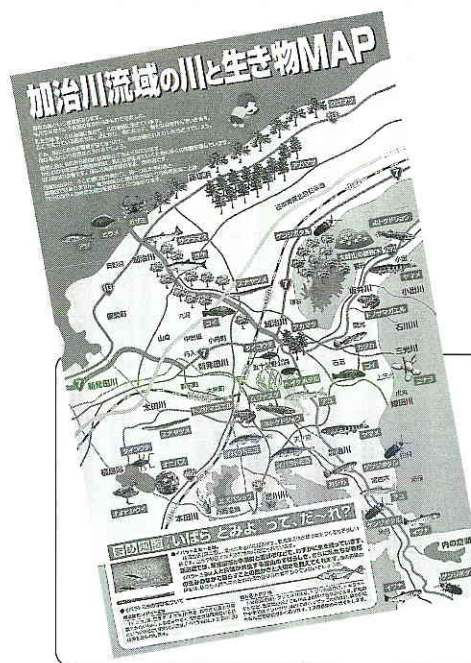
（財）こしじ水と緑の会が主催する「自然保護助成基金の成果発表会」が、このほど開催され、事業認定を受けた当会も他の団体に混じり、発表をいたしました。この助成事業は自然保護活動の活性化を図るため、平成14年から始まったものです。

今回、加治川ネットが取り組んだのは「加治川流域の川と生き物MAP」環境学習用リーフレットの作成。総合学習で子どもたちと生き物調査をした結果などをまとめてリーフレットにしました。

発表はリーフレットを作る過程や、リーフレットを活用した総合学習の様子、きれいな川ときたない川の生態系を子どもたちに知ってもらおうと同時に、「海が豊かになるためには川や山が豊かでなければならぬ」と、新発田市内で近年生息が確認された絶滅危惧種のイバラトミヨの保護の話なども紹介しました。



水と緑の会・朝日酒造 基金 成果発表会



学校で総合学習などに利用する場合にはこのリーフレットを無料で差し上げています。必要な方は、加治川ネット事務局までご連絡ください。

学びの扉

《市内小学校でイバラトミヨの話聞く会開催》

1月22日、新発田市立荒橋小学校の4～6年生と、保護者、水士里ネット豊浦郷職員など約50名が参加し、「イバラトミヨの話聞く会」が開催されました。イバラトミヨについては、昨年、12月に当会理事長が講師となり一度授業を担当していますが、イバラトミヨの存在に感動した子どもたちの「ぜひ小学校区みんなに知ってもらいたい」との思いに応え今回の学習会となりました。

学習会は「イバラトミヨの一生」「海と川の関係」「ブラックバス問題」の三部構成。



今回は魚に詳しい藤田理事が講師を務めました。終了後、子どもたちから、「イバラトミヨにはなぜとげがあるのか」「イバラトミヨのメスは卵を産んだ後はどうなる」など活発な質問がありました。学校区でイバラトミヨを知っていた児童は10名くらい。ほとんどの児童は見るのも初めてというので、このサカナの稀少価値の話に感動だにせず聞き入っていたことが印象的でした。

地域を愛する…… 「みんなに五十公野のすばらしい草木を知らせたい」……いじみの植物の会

五十公野丘陵の植物を中心としたすばらしい自然を皆さんに知っていただきたいと願い、平成16年4月から観察会や講演会、看板設置といった活動を行っています。

五十公野には、県内で唯一生育が確認されているムジナスゲといった大変貴重な植物をはじめ650種を超える多種の植物が生育しています。皆さんとともに植物を守っていきたくです。



e-mail ijiminosyokubutu@yahoo.co.jp
ホームページ http://www.geocities.jp/ijiminosyokubutu/

環境豆知識

「CODとBOD」

CODとBODの両者は、水中の汚濁状態を示す指標として用いられ、CODは湖沼の流れの少ないところで、BODは流れのある川で使用し、その使い分けをしています。両方とも汚濁物質を分解するために消費する酸素の量を調べますが、CODは化学薬品を使い、BODは薬品の代わりにバクテリア細菌の働きを利用します。

湖沼は、川より流れが少ない分、植物プランクトンが育ちます。プランクトンは汚濁物質を分解しませんが、葉緑素を持ち、自らが呼吸するために酸素を消費します。またバクテリア細菌も汚濁物質の分解に酸素を使うため、全体として酸素消費量が増えてしまい、湖沼では正しいBODは測れません。そこで湖沼の汚れは、化学薬品(酸化剤)により酸素消費量を調べます。これがCODです。CODもBODも値が大きいほど水が汚れていることになります。

宝物

みつけた

「イバラトミヨ」

新発田市には「イバラトミヨ」という今では珍しい魚がいます。イバラトミヨは体長5センチ程度の小さな魚で、湧き水のある場所に生息し、水草を利用して巣作りをするユニークな魚としても知られています。背中のトゲが特徴で、新発田地域では「イシャジャ」とも呼ばれています。新潟県レッドデータブックには「新発田市の生息地はU字溝に変わり絶滅した」とされていますが、平成14年に再発見され、現在は地域の人々による保全

活動も始まっています。

イバラトミヨの生息は、その水辺環境の豊かさを示しています。この小さな魚が再び絶滅することのないよう、地域の自然環境を大切にしていきたいものです。

NETニュース

2月3月に相次いで、加治川ネット受賞のうれしいニュースが入りました。
南東北「川」水環境ワークショップ「グランプリ受賞」
(2月25日、宮城県石巻市で開催)
新発田市まちづくり活動支援事業18年度審査会で「支援金授与団体」に。
(3月3日、地域交流センターで開催)
詳しくは当会ホームページをご覧ください。

体験すれば、もっと地域が好きになる！ イベントや活動に、参加してみませんか？

ふるさと生き物観察会

とき：4月22日(日)午前9時～11時
場所：新発田市六日町、久保地内
内容：絶滅危惧種であるイバラトミヨの生息状況を調査し、地域に生息する生き物を観察。
参加費：無料。だれでも参加可

〈申し込み・お問い合わせは〉
加治川ネット21事務局
電話 (0254) 31-4111 FAX (0254) 31-4088
E-mail kjn21@ml.shibata.ne.jp

参加しませんか？ イベントガイド

歴史健康ウォーク ~会員限定イベントです~

とき：5月26日(土)～27日(日)1泊2日
場所：新発田市五十公野～阿賀町三川
内容：新発田から参勤交代で使用した道をたどりながら、地域資源の再発見と健康のためのウォーキング。
参加費：宿泊費+1,000円
定員：先着20人
その他：会員限定。要申し込み。
詳細は4月中旬に決定し加治川ネットホームページでお知らせします。
ぜひこの機会に入会して下さい。

全国一斉水環境調査

とき：6月3日(日)午前9時～11時
場所：新発田市内(新発田川、加治川)
内容：国土交通省の呼びかけで全国一斉に行われる調査です。加治川ネットも協力し、新発田市内の2河川で実施。
参加費：無料。だれでも参加可